

ヤエセンチュ大会

世界のヤエセンチュを

おもてなし

世界のウチナーンチュ大会に合わせて、八重瀬町にルーツをもつ方＝ヤエセンチュを八重瀬町に招き、YAESE結フェスタへの招待や交流会などを実施しています。



世界各地の沖縄県系人が母県である沖縄に集い、功績を称えるとともに、県民との交流を通してウチナーネットワークを拡大・発展させ、さらにそのルーツやアイデンティティーを確認し次世代へ継承していくことを目的とした「世界のウチナーンチュ大会」。概ね5年に一度開催されるこの大会に合わせて、八重瀬町にルーツを持つ「ヤエセンチュ」を招き、歓迎の夕べなどを開催しています。令和4年の第7回目の大会では、1日目に「YAESE結フェスタ」へ招待し、2日目には「移民のルーツを巡るバスツアー」を開催しました。バスツアーでは、港川フィッシャーの見学や、汗水節の踊りと生演奏の鑑賞、藍染体験など町の歴史や文化に触れていただきました。2日間で計40名のヤエセンチュが参加し、大いに盛り上がりました。



八重瀬町 国際交流人材育成事業

世界へ羽ばたく青少年をサポート

青少年リーダーを海外(ハワイ)に派遣し、教育・文化・歴史・産業等の視察研修や海外青少年との交流及びホームステイ等の活動を通して、国際的視野を広げ、友情を深め、国際化時代に対応し得る青少年リーダーの育成を目的に、夏休み期間中に実施しています。



さまざまな地域とつながる八重瀬町 姉妹都市・国際交流

CONNECTING WITH OTHER REGIONS
SISTER CITIES AND INTERNATIONAL EXCHANGE



姉妹都市 香南市

香南市は、平成18年3月1日に、高知県の香南5町村(赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川村)が合併して誕生しました。四国山地を源流にする河川などが豊かな場所です。

香南市の紹介

香南市は平成18年3月1日に高知県の香南5町村(赤岡町、香我美町、野市町、夜須町、吉川村)が合併して誕生した町です。高知市の東部約20～30キロメートルに位置し、東西約20キロメートル、南北約15キロメートルの広さを持つ面積126.46平方キロメートルのまちです。人口は、約3万3千人で四国山地を源流にする河川などが豊かな水と緑に囲まれた地域です。

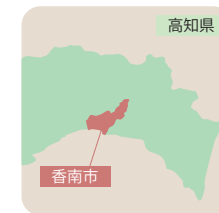


初代八重瀬町長 中村信吉氏(左)と初代香南市長 仙頭義寛氏(右)



これまでの交流

昭和41年11月22日、具志頭城址に「土佐之塔」が建立され、高知県遺族会による毎年の慰霊訪問を機に交流が始まりました。高知県・具志頭村児童交歓会や、各種視察団の派遣交流を通し親善を深め、平成5年に具志頭村と野市町間で姉妹都市提携盟約調印が挙行され、一層の絆が深まりました。以降、教育や文化、産業等の多様な分野での幅広い交流が行われています。



高知県
人口:33,009人
(令和4年12月末日)
市の木 センダン
市の花 ミカン(蜜柑)
市の鳥 メジロ
特産品 シイラ・ニラ・みかん・メロン他